

第17回 山梨県道路交通円滑化・安全委員会 議事内容

日時：平成29年7月27日(木) 14:00～15:30

場所：KKR甲府ニュー芙蓉 アメジストホール

■委員会出席者

山梨大学工学部土木環境工学科教授
山梨経済同友会代表幹事
甲府商工会議所卸売商業部会長
（一社）山梨県トラック協会会長
山梨県交通安全母の会連合会長
（一社）山梨県交通安全協会専務理事
山梨県警察本部交通部交通規制課長

佐々木 邦明（委員長）
入倉 要
遠藤 一郎
坂本 政彦
藤江 達子
北村 正彦
川口 守弘
（代理：規制第一係主任 野澤 佑輔）

国土交通省関東運輸局山梨運輸支局
首席運輸企画官
中日本高速道路（株）八王子支社
交通管制チームリーダー
甲府保全・サービスセンター所長
山梨県県土整備部道路整備課長

渡邊 太郎
折野 好倫
杉安 禎広
清水 敬一郎
（代理：道路企画監 野沢 清次）

山梨県県土整備部道路管理課長

雨宮 一彦
（代理：課長補佐 桜林 良）

国土交通省甲府河川国道事務所長

尾松 智

■議事内容

<規約改正>

- ・委員会規約改正について

<渋滞対策>

- ・渋滞対策の進捗状況確認
- ・最新の交通状況による分析
- ・渋滞対策箇所の効果確認
- ・主要渋滞箇所の見直し
- ・優先対策箇所の検討状況
- ・ピンポイント渋滞対策の検討

<交通安全対策>

- ・事故ゼロプランの進め方
- ・追加候補箇所の選定について
- ・事故危険区間の事業進捗状況報告
- ・自転車通行環境整備の取り組み
- ・生活道路の対策の取り組み
- ・事故ゼロプランの卒業ルール案

■審議結果

●渋滞対策関係

<決定事項>

- ・(仮称)新倉1交差点は、主要渋滞箇所から解除することについて了承を得た。

<議事内容>

【質問・意見】

- ・新倉山浅間神社には、外国人観光客が多く訪問している。更なる観光客の増加が予想され、その大部分は鉄道で来ることから、駅周辺では歩行者の集中が交通の妨げになる可能性があると思うが、歩行者への対策は考えられているか。

【事務局回答】

- ・外国人観光客の増加に対する対応として、道路標識への英語表記への対応を行っているところである。

【質問・意見】

- ・広瀬交差点の右折レーンについて、もう少し長くすることで、直進車両の阻害をなくし、渋滞緩和に効果があるのではないか。

【事務局回答】

- ・広瀬交差点の方向別交通量を見た場合、直進車両が約9割となっており、右折車両の直進阻害が主な渋滞要因ではないと考えている。

【質問・意見】

- ・フォローアップで見てきた国母交差点については、対策後、店舗の新規開店等、周辺の土地利用が変わってきていると思うが、対策前後で交通量の変化などは見られないか。

【事務局回答】

- ・左折レーンの設置前後で交通量の大きな変化は見られない。
- ・また、国道20号の左折レーン設置は、渋滞対策よりも交通事故対策という面が強かったため、渋滞緩和とならなかった一つの要因だと考えられる。

●交通安全対策関係

<決定事項>

- ・追加候補箇所の選定について原案どおり了承された。
- ・対策実施済箇所の事故危険区間の卒業ルールについて原案どおり了承された。

<議事内容>

【質問・意見】

- ・現在進めている甲府駅南口の修景計画の完成時期、および計画における安全対策・渋滞対策について教えていただきたい。

【事務局回答】

- ・甲府駅南口周辺地域修景計画には駅前広場の整備と平和通りの整備がある。駅前広場の整備は、渋滞の負荷を配慮しつつ、歩車分離信号とすることで歩行者が安全に横断できるようにする歩行者優先エリアというコンセプトで進めており、今年の8月に整備が完了する予定である。また、平和通りの整備については、歩行者と自転車が安全に通行で

きるよう、歩行者と自転車を区分する通行帯に変更する計画で整備が進められており、駅前から県庁前までについては本年度4月に完了。県庁前から市役所と甲府警察署前交差点については平成30年度に工事完了予定で進めている。

【質問・意見】

- ・ 絵見堂交差点改良事業において、改良後になぜ横断歩道の形状を変更したか。

【事務局回答】

- ・ 国道と県道の他に市道が交差点部に取り付いているが、横断歩道の内側に取り付いていた市道を外に出すことで歩行者の安全性を高め、交差点のコンパクト化を図ったため、横断歩道の形状がこのように変更になっていると思われる。

(委員会の状況)

